2024年7月5日

21世紀の林業を担う林業後継者養成セミナーのご案内

一般社団法人日本林業経営者協会

会長　吉川重幹

青年部会長　吉田正木

公益社団法人大日本山林会

会長　永田信

全国林業研究グループ連合協議会

会長　齋藤正

１　目的

温室効果ガスの急激な増加に伴う高温や乾燥、暴風雨の激甚化と大雨の多発、大規模な山火事の発生など世界各地で気候変動の影響が深刻化する中で、水資源の涵養、国土の保全、地球温暖化の防止を図る上でも森林の有する多面的機能に対する国民の期待は従来にも増して高まっています。また、２０２１年に発生したウッドショックや円安基調が進行する中で、安定的な木材の供給源としても国内の森林資源は注目を集めています。

　　しかしながら、これまで森林を守り育ててきた林業経営を取り巻く状況は、長期にわたる木材価格の低迷から収益性が低下し、森林所有者の経営意欲の減退に伴って、主伐後に再造林されない林地が増加するなど、持続的な森林資源の循環利用は困難になりつつあります。

このような状況を打破し、持続的な林業経営の確立を図るための方策の一つとして、意欲と能力に優れた林業後継者を養成し、地域間、世代間の連携を密にしながら今後の我が国林業を支える人材ネットワークを形成することが急務となっています。

日本林業経営者協会では、これまで1980年から一回目の林業後継者セミナーを開催して以降、これまでに三回に亘って林業後継者セミナーを開催し、各々の時代で林業経営を支える人材の育成と林業に取り組む絆の形成を促してきました。

２００９年に三回目の林業後継者セミナーを終えてから約15年経過したことから、このたび公益社団法人大日本山林会、全国林業研究グループ連絡協議会及び一般社団法人日本林業経営者協会が連携・協力して、21世紀の林業を担う林業後継者養成セミナーを開催することとしました。

開催に当たりましては、日本林業経営者協会青年部会長を全体の責任者として、令和6年度から令和8年度までの3年間に6回の現地研修会を開催するほか、林業経営シンポジウムを開催し、我が国の林業を取り巻く厳しい状況を踏まえた上で、持続可能な林業経営を確立するための方策等について、多くの関係者と意見交換を行い、その実現に向けて相互に連携協力しながら経営者自らが改善に取り組むきっかけにしたいと考えております。

２　全体計画

林業後継者養成セミナーの現地研修会の開催候補地は下表のとおりです。但し、今後、参加者のご希望や実施状況を踏まえながら、開催回数の追加、開催地、開催内容等を変更するなど、柔軟に対応したいと考えています。また、２年目以降には、林業経営シンポジウムを開催し、特定のテーマに沿った意見交換の機会も設ける予定です。

令和6年度の予定として、第１回の現地研修会を別紙1のとおり企画しました。追って第2回の現地研修会についてもご案内させて頂きます。

林業後継者養成セミナー現地研修会の開催候補地



* 2年目以降に林業経営シンポジウムを開催

３　　林業後継者養成セミナー現地研修会の開催要領

1. 現地研修会のねらい

国内外の森林、林業、木材産業、木材利用にかかる全般的な現状や課題、科学的かつ合理的な施業のあり方、林業経営者としての心構え、林業経営に対する金融税制面の措置、支援策等について、講義と現場での実践研修を通じて、林業経営に必要な最新の知識や教養を取得するとともに、今後、苦楽をともにできる仲間づくりに寄与する。

(2) 実施主体

一般社団法人日本林業経営者協会、公益社団法人大日本山林会、全国林業研究グループ連合協議会が共同で開催することとし、事務局長は日本林業経営者協会青年部会長、事務局は日本林業経営者協会が担当する。

(3) 受講資格者

実施主体である三団体の若手会員、会員の経営を引き継ぐ後継者、法人会員の従業員、三団体への入会希望者とし、林業経営セミナーも含めて、5回以上の参加を希望する者とする。

(4) 経費負担

経費負担については、現地研修会毎に精算するものとし、研修中の移動に利用する貸切バス、レンタカー等の経費、外部講師の謝金、交通費、宿泊費、講演会場の借上げ費、資料作成費を共通経費として三団体で均等に負担する。

研修参加者の集合場所までの交通費、宿泊費、飲食費等は自己負担とする。

(５) 参加申込

参加希望者は、別紙2の参加申込書に必要事項を記入の上、8月16日（金）までにFAX又はメールで日本林業経営者協会事務局まで提出するものとする。

申込先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-1日土地内幸町ビル2階

（一社）日本林業経営者協会事務局（担当：池田、寺島）

e-mail:office@rinkeikyo.jp

電話：03-6910-2975 FAX: 03-6910-2976

(６) 修了書等の交付

現地研修会及び林業経営セミナーに3年間で5回以上参加した者には、「林業後継者養成セミナー修了証書」を交付する。

別紙1

**２１世紀の林業を担う林業後継者養成セミナー**

**第１回現地研修会のご案内**

**１　研修目的**

我が国における森林、林業、木材産業及び関係する政策の現状と課題を学習するとともに、①古くから鹿沼市粕尾地区で地域の林業経営を先導してきた有限会社高見林業の山林経営を視察し、ドローンや航空レーザー測量データ等を活かしたスマート林業の取組、地域工務店と連携した顔の見える木材での家づくり等の実践的な取組、②株式会社栃毛木材工業において木材資源の多様な活用、森林クレジットの取得、販売等による収入確保に向けた取組、③国産材を製材加工している二宮木材株式会社や北関東でも有数の優良林業事業体である高原林産株式会社を視察し、森林整備、木材生産、国産材利用に向けた実践的な取組を学ぶ。

**２　研修日程**

**１１月２１日（木）**

12時30分に宇都宮駅前集合

13時から17時30分まで栃木県林業大学校の教室で複数の講師から我が国の

森林、林業の現状や課題等について受講、意見交換

夜は宇都宮市内で懇親会

**１１月２２日（金）**

8時30分に宇都宮駅前からバスで那須塩原市の二宮木材株式会社へ移動

二宮木材（株）、高原林産（株）、栃木県森連県産材センターを訪問。原木生産から流通、製品加工までの現状について視察し、今後の国産材利用に向けた課題や展望について意見交換

夜は宇都宮市内で懇親会

**１１月２３日（土）**

8時30分に宇都宮駅前からバスで鹿沼市の高見林業の山林へ移動

（有）高見林業、（株）栃毛木材工業を訪問し、山林の経営方針、これまでの施業、スマート林業の導入、地域工務店との連携、森林認証取得の経緯、J－クレジットの活用等について、宇都宮大学の松英准教授も交えて意見交換

16時に宇都宮駅で解散

**３　11月21日の講演予定者**

13:00～13:20

林業後継者養成研修のねらい　　日本林業経営者協会青年部会長　 吉田正木

13:30～14:20

我が国森林、林業の現状と課題 大日本山林会会長　　　　　　　　　 永田 信

14:30～15:20

森づくりの原理・原則　　　　　　　　森林総合研究所研究ディレクター　　正木 隆

15:30～16:10

林業税制の基礎知識　　　　　　　　福島大学准教授　　　　　　　　　　　　藤野正也

16:20～16:50

栃木県林業大学校施設の概要　　栃木県林業大学校学長 大野英克

17:00～17:30

グループディスカッション

※演題は仮のものです。

別紙2

|  |
| --- |
| **林業後継者養成セミナー　参加申込書**  （林経協事務局　FAX03-6910-2976　電話03-6910-2975）  **〇　林業後継者養成セミナー（６回）に参加を申し込みます。**  氏名・年齢  所属団体  会 社 名  自宅住所  連絡先（携帯番号等）  **〇　第１回現地研修会への参加について**  該当する点に○を付けてください。  11月21日（木）　・ 参加する　　・　参加しない 　 ・　 懇親会に参加する  11月22日（金）　・　参加する　　・　参加しない 　・　 懇親会に参加する  11月23日（土）　・　参加する　　・　参加しない  **〇　その他**（ご要望等がありましたら記入してください。） |